

令和2年度教員採用候補者選考試験問題作成委員打合せ会
教職員課長 挨拶

平成31年4月15日（月） 14時00分

平成31年4月16日（火） 14時00分

教育庁第一会議室

教員採用試験については、将来の本県の教育の姿を形づくる非常に重要な業務であることから、本県教育行政において指導的立場におられる皆様方に中心となっていただき、試験問題の作成を行っております。

御存知のとおり、教員採用試験だけでなく、公務員試験については社会の関心が非常に高く、小さなミスでもマスコミに大きく取り扱われる傾向にあります。平成20年の大分県の事件以来、特に教員採用試験に対しては、厳しい目が向けられているところです。

このほか、平成18年には福岡市で試験問題の漏洩、平成22年には札幌市で面接資料の流出、平成24年には三重県で、選択肢の漢字を誤っていたために、全員を正解にするというミスがありました。また、平成25年には山形県で採点ミスがあり、追加採用や再試験を実施しております。さらに平成27年度には熊本市、28年度には沖縄県において、市販の問題集から引用された問題が出題され、公平性を欠く問題が出題されておりました。このようなことは本県教育の行く末だけでなく、教員志望者の人生もかかった採用試験において、絶対にあってはならないことと考えております。

このため、万が一の過ちも起こらないよう、問題作成過程も含め、情報の管理を厳正に行うこととしております。皆様方には、いろいろと不便や不都合をおかけすることもあろうかと思いますが、公平・公正な採用試験を実施するため、何とぞご理解を頂きますようお願いいたします。

また、採用試験対策の勉強会等への参加など、採用試験の信頼性に県民から少しでも疑念を持たれるような行為につきましても、くれぐれもご留意くださるようお願いいたします。

あまり芳しくない話ばかりで大変恐縮でございますが、本年の採用試験を成功させるため、関係職員一丸となって取り組んで参りたいと考えております。

8月までの長期間の業務となりますが、皆様の御理解、御協力を改めてお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。